

公益財団法人岩手県文化振興事業団第43回理事会議事録

- 1 開催日時 平成30年11月14日(水) 午後1時30分～
- 2 開催場所 岩手県立美術館 会議室
- 3 出席者 理事総数 9名
出席理事 8名
理事 菅野 洋樹 理事 及川 伸一
理事 熊谷 常正 理事 柴田 和子
理事 坂本 誠一 理事 佐々木 一成
理事 高橋 廣至 理事 藁谷 収
監事総数 2名
出席監事 2名
監事 梅木 敬時 監事 久保隆男
- 4 議長 理事長 菅野 洋樹
- 5 決議事項
議案第1号 平成30年度事業計画の変更について
- 6 報告事項
報告事項1 職務執行状況の報告について
報告事項2 平成31年度事業実施計画(素案)の概要について
報告事項3 埋蔵文化財センターのあり方検討委員会報告書について
- 7 議事の経過の要領及びその結果
定刻、総務部総務課長が開会を宣し、本理事会は定款第35条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、理事長が議長席に着き、次の議事に入った。

(1) 議案第1号 平成30年度事業計画の変更について
議長は議案第1号を上程し、埋蔵文化財センター総務課長より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

〔報告事項〕

(1) 報告事項1 業務執行状況の報告について

業務執行状況について、別紙資料に基づき、理事長並びに業務執行理事3名より報告があり、これを了承した。

《質問・意見等》

【理事】

県民会館ロビーコンサート、中学生や高校生が演奏される場合の反応はどうか。

【県民会館】

普段と違う環境での演奏となり、合唱などは特に盛況である。

【理事】

演奏者の選定はどのように行っているのか。

【県民会館】

過去の開催実績などを考慮し、集客力がある団体を選定し、県民会館自体のPRも行っている。

【理事】

質問事項と確認事項3点。

- ① 県民会館のぞ・クラシックの応募状況はどうかお聞かせ願いたい。
- ② 県民会館のバックステージツアーで保育園児を受け入れた実績があるようだが、反応はどうだったか。
- ③ 今年の博物館まつりの当日は、県民会館の芸術体験イベントと日程が重なり、来場者を取り合ったので、来年度は重ならないような調整をお願いしたい。

【県民会館】

ぞ・クラシックは様々なジャンルから10件超の応募があった。

保育園児に対するバックステージツアーは、回り舞台を見せたり、照明では色の三原色を利用し、組み合わせで別の色を作る様子を見せるなど、年齢に合わせて、小さい子でも楽しめる工夫をしている。

【理事】

ジャンルも多いなか審査も大変と思うが、ざ・クラシックは新人発掘の良い機会と思う。できるだけ門戸を広げて、舞台を踏む経験を積ませてほしい。

【理事】

来年度の博物館まつりの日程調整は重ならないように設定したい。

(2) 報告事項2 平成31年事業実施計画(素案)の概要について

平成31年度事業実施計画(素案)の概要について、別紙資料に基づき、県民会館ホール課長、埋蔵文化財センター総務課長、博物館総務課長、美術館副館長及び総務部総務課長より報告があり、これを了承した。

(3) 報告事項3 埋蔵文化財センターのあり方検討委員会報告書について

埋蔵文化財センターのあり方検討委員会報告書について、別紙資料に基づき、埋蔵文化財センター副所長より報告があり、これを了承した。

《質問・意見等》

【理事】

神奈川・埼玉では20年ほど前にプロパー職員の整理や配置転換を伴う、大きな組織改編があり、様々な問題を引き起こしたこともあったことから、当事業団で、そのような問題を踏まえ、どのように対応するかを早い段階でまとめたことは適切な対応である。

埋蔵文化財センターは長年の調査で、大変な量の資料を有しており、そういった資料を再整備しなおし、県民が活用させるといった事業も大事なことであるが、現在の事業団ではそのような受託はできにくい体制である。

事業量も減少する中、報告書にもあるとおり小さい事業を拾っていくことも必要なことだと考える。

【理事長】

今後はご指摘のとおり、これまで蓄積した資料や経験を生かし、様々な業務を受託できるようにするなどして、安心して在職できるような方策を考えていきたい。

以上をもって議事の全部を終了したので、午後2時50分閉会を宣し、解散した。
以上の議事の経過の要領及び結果を明確にするため、理事長及び監事が記名押印する。

平成30年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団 第43回理事会

議 長 印

監 事 印

監 事 印